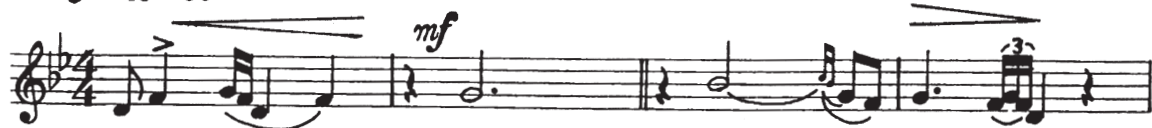


至誠心の御詠歌（至誠調）

松 濤 基 作曲

♩ = 40~50



〔詠頭〕 × × ⊗ × × ○ × ○ × ○ × ○ ×
おー --- オー 〔斉唱〕 じょう --- は ---



× × × × ⊗ × ○ × ⊗ × ○ ×
よォ にや すーけ れど み --- イ --- な



⊗ ⊗ × × ⊗ ⊗ × × ○ × ○ ×
ひ イ --- と オー の ま こ と の



○ × ○ × ○ ○ × × ○ ○ × ×
こ こーろ な --- く ウー て



○ × ○ × ○ × ○ × ○ ×
こ ーそ せ ェ ー ね ー

し じょう しん 至 誠 心 の 御 詠 歌

「さんじん
三心の中の至誠心のこころを」

往生は よにやすけれど みな人の まことの心 なくてこそせね
(法然上人御作)

題意 ^{し じょう しん}至誠心、^{じん しん}深心、^{え こう ぼつ がん じん}廻向発願心の三心の中、至誠心はお念仏を申す信仰の基礎であり、真実心のことで。真実心の反対は虚仮心^{こ け しん}で、人目を飾り外目と中味が異なる心です。至誠真実は飾らない素直な心のことで。

大意 お浄土に往生することは、ほんとうはたやすいことですよ。しかし、どんな人でも至誠真実の心がなくてはみ仏の願力にかなわず、往生を不可能にしてしまうのです。どうぞ心も振る舞いも共に誠の心で念仏相続して下さい。

参考 ・信をば一念に生ると信じ 行をば一形にはげむべし (法然上人)
・只申せ 申す内にはおのずから 深きまこともおこりこそすれ (無能上人)

ポイント注意

- 1小節目のシンコペーション、2・3小節目の大きいシンコペーションをしっかりと。
- 「まことの」は4拍子の強弱のリズムを強調します。